

愛媛県

ディスカバー農山漁村 むらの宝」第12回選定) 応募団体 一覧 愛媛県)

No	選定 団体	部門	市町村	団体名/氏名	該当する取組		
①	地方 奨励賞	団体	松山市	公益社団法人 松山市シルバー人材センター	農業	6次産業化	都市農業
②	地方 奨励賞	団体	松山市	HAPP (Hojo Agriculture Professional Production)	農業	企業との連携	移住・定住
③		団体	今治市	一般社団法人 ANT	農業	農村環境・景観保全	食育・教育
④		団体	今治市	NPO法人 能島の里	6次産業化	荒廃農地対策	女性の活躍
⑤		団体	宇和島市	アクセサリー工房「海花」(愛媛県立宇和島東高等学校津島分校)	水産業	学生・若者の活躍	その他
⑥		団体	宇和島市	愛媛県立北宇和高等学校三間分校 地域情報ビジネス部	食育・教育	学生・若者の活躍	関係人口の創出
⑦		団体	八幡浜市	愛媛県立八幡浜高等学校 商業研究部A★KIND	環境保全 農林水産業・食品産業)	教育機関との連携	学生・若者の活躍
⑧		団体	八幡浜市	ダルメインWorldマーマレードアワード&フェスティバル in Japan実行委員会	6次産業化	企業との連携	官民共創
⑨		団体	西条市	NOP法人 うちぬき21プロジェクト千町棚田チーム	農業	棚田保全	農村環境・景観保全
⑩		団体	西条市	愛媛県立丹原高等学校 Team KABOKU ～Growing Local Futures～	農業	荒廃農地対策	その他
⑪	地方 奨励賞	団体	大洲市	愛媛県立大洲農業高等学校	農業	企業との連携	農村環境・景観保全
⑫		団体	大洲市	長浜高校水族館部	水産業	食育・教育	学生・若者の活躍
⑬		団体	西予市	かりとりもさくの会	農村文化体験	移住・定住	関係人口の創出
⑭		団体	西予市	高川地域づくり会	移住・定住	関係人口の創出	その他
⑮		団体	久万高原町	愛媛県立上浮穴高等学校森林環境科「くまもるず」	農業	伝統の継承	食育・教育

応募団体所在市町区（愛媛県）



地方
奨励賞

こうえきしゃだんほうじん まつやまし

じんざい

公益社団法人 松山市シルバー人材センター

幸せになろう、農とつながる第二の人生

概 要

- 平成28年度に「まつやま郷土料理研究会」を発足。豊富な経験と知恵を持つシニア世代が生涯現役活躍できる場を創出。
- 伝統野菜「伊予緋蕪」の栽培から加工・販売までを一貫して行い、伝統文化を継承。
- 令和5年度に農園「シルバーFarm平井」を発足。会員だけでなく、地域のお年寄りや若い世代など、すべての人が関わりあうことで、ウェルビーイング（well-being）を推進。

成 果

- 「伊予緋蕪」の活動で、令和3年度に1名の就農者を輩出するなど、地域の雇用創出、伝統文化の継承、そして多世代が活躍できる社会づくりに貢献している。
- 土に触れ、作物を育てる屋外活動は、高齢者の心身の健康維持によいほか、活動の輪となり地域の活性化につながった。
- 農産物栽培アプリを導入・活用することで、初心者でも楽しみながら栽培技術を高めている。



地域マルシェでのジャガイモ販売



センターのSNS利用者に産地直接販売



伝統野菜「伊予緋蕪」の収穫

〒790-0808 松山市若草町8-3
089-933-7373 matuyamasc@sjc.ne.jp

関連情報はこちら ▶

地方
奨励賞はっぷ
HAPP

ほうじょう あぐりかるチャー ぷろふえっしょなる ぷろだくしょん
(Hojo Agriculture Professional Production)

挑戦者～畑に希望を蒔いた者たち～

概 要

- 松山市の北条地区で農業経営のプロを目指す組織として、資材業者、税理士等の他業種からも参加を募り活動している。
- 月1回開催の勉強会や、講師を招いた専門学習の場「HAPP農研ラボ」の開催、週1回の農業者向けラジオ番組「アグラジ」での情報発信の外、愛媛県「デジタル実装加速化プロジェクト」の実証等でスマート農業にも積極的に取り組んでいる。
- 新規就農者を地区に呼び込み、農地・空き家情報の提供や生活・経営サポートを行うプロジェクトを実施している。

成 果

- 定例会には毎月新たな農家が参加し、メンバー間での自発的な情報交換が活発化している。
- 認知度が高まっていることから、地元に縁がなくても「HAPPの一員」という信頼が後押しとなり、農地や機材の確保、地域との協力関係構築が円滑に進む。
- 令和3年度から毎年、1～3名が新規就農しており、令和7年度も3名が新規に就農した。



毎月の定例会と勉強会



HAPPのラジオ番組「アグラジ」



HAPP紹介パンフレット

〒799-2406 松山市中通781-1
090-6880-7086 happy.hoj@gmail.com

関連情報はこちら ▶



いっばんしゃだんほうじん あんと

一般社団法人 ANT

自分の住む地域を自分たちの力でより良くしていく

概要

- 高齢世帯の困りごとを代行する活動「おた助さん」を始めたが、農村部のためか、依頼の多くが、耕作放棄地の草刈や、管理困難な農地の相談であったため、耕作放棄地の整備、農作業の手伝い、竹林の伐採を行い、農業環境の整備活動を行う「波方地域ほぜん隊」活動を行っている。
- 農作物や加工物に興味を持ってもらい、農業を知るきっかけにするため、コミュニティショップ「ふらっと」を運営している。

成果

- 整備した耕作放棄地を新たに共同農地として活用して、初年度には玉ねぎを植え多くの収穫を得て、「ふらっと」の野菜バザーに出し、購入者の方に喜んでいただくことができた。
- 身近な野菜作りの相談窓口として聞かれることも増えてきた。
- 竹を伐採し景観を保つとともに、伐採した竹を活用した竹チップや、笹を塩の製造工場に持ち込み買い取ってもらうなどの活動を行った。



力を合わせて波方の里山再生



コミュニティショップ「ふらっと」



地域の材を使った工作教室

〒799-2101 今治市波方町波方甲2029
0898-41-9770

関連情報はこちら ▶



えぬピーおーほうじん のしま さと

NPO法人 能島の里

“黒いダイヤ”クロイチジクで6次産業化！

概要

- 市から宮窪石文化運動公園の食堂の運営を任されるにあたり、こだわりのメニューとして、糖度が高く、“黒いダイヤ”と称されるクロイチジクの栽培に挑戦。傷みやすい特徴からジャムとし、スイーツの製造・販売に展開していく目標を立てた。食堂もイチジクにあやかり“映日果”として食堂&カフェに再生。
- 令和元年度から宮窪町内の耕作放棄地を園地に整備し、徐々に面積を増やしており、現在は約50aで栽培を行っている。

成果

- 令和4年度は約100kg、翌令和5年度には約200kgを収穫しており、令和7年度も同程度を収穫する見込み。
- 初めての収穫を行った令和4年度は、カフェ「映日果」に女性会員10名が集まり、ジャムの瓶詰めを行った。
- 令和5年秋には、将来、調理師や栄養士を目指す今治明德短期大学の学生がクロイチジク狩りを体験した。



映日果農園



クロイチジク狩りをする学生



ギフト用のジャム

〒794-0073 今治市矢田甲688
090-4339-2294 onaru@meitan.ac.jp

関連情報はこちら ▶



こうぼう うみか
アクセサリー工房「海花」
えひめけんりつうわじまひがしこうとうがっこうつしまぶんこう
(愛媛県立宇和島東高等学校津島分校)

海と町に元気を届ける津島分校の挑戦！

概要

- 真珠養殖についての調査研究を進める中で、廃棄されるあこや貝の廃貝殻や規格外真珠を有効利用することが、環境問題の解決につながるのではないかと考え、令和5年度から、廃棄された貝殻や規格外の真珠を活用したアクセサリー作りに挑戦した。
- 市内の観光施設でアクセサリーの展示会を開き好評を得た後、令和6年度にはマーケティングの出張授業を受け、インナーブランディングの一環として「海花」というアクセサリー工房の社名を掲げて活動を開始した。

成果

- お守りキーホルダー「花南HANA」、つまみ細工のブローチ「あかり」などを制作し、令和6年度には地域のイベントで53個を販売した。
- 県教育委員会から商品や活動が評価され、令和7年度ソーシャルチャレンジグランプリにおいて、入賞者に授与する記念品として採用されることが決定した。
- 三浦保環境賞 実行委員会事務局から取組が評価され、同賞の候補に選ばれた。



社名「海花」と商品名「花南HANA」・「あかり」



えひめ地域づくりアワードユース2024で特別賞受賞



市観光物産協会での展示交渉・展示会の様子

〒798-3302 宇和島市津島町高田甲2469-1
0895-32-2304

関連情報はこちら ▶



えひめけんりつきたうわこうとうがっこうみまぶんこう
愛媛県立北宇和高等学校三間分校
ちいきじょうほう
地域情報ビジネス部

みまの名を全国へ！ みま米の普及継承と魅力発信プロジェクト

概要

- 宇和島市三間町では、人口の減少に歯止めがきかず、耕作放棄地の増加や竹林荒廃が増えている。その現状を打破するため、高校生が主体となり、地域を巻き込みながら地域を盛り上げるとともに、ブランド米「みま米」の普及継承をしたいとの思いから、産学連携を軸とするPR活動を行っている。
- みま米を用いた商品（MIMAライスバーガー・美沼フルーツミックス）の販売や、離島×三間、県外×三間など地域を巻き込んだPR活動を実施している。

成果

- みま米に付加価値を付け、広く認知してもらうにはどのような方法が最適かを考え、MIMAライスバーガーを三間町内外で628個販売するとともに、美沼フルーツミックス（冬場はイチゴ、夏場はキウイフルーツを用いた大福）を220個販売した。
- 駅前マルシェへの出店やパンプキンアートの設置などにより、人口減少で存続が危ぶまれているJR予土線沿線の活性化に協力することで、人口の流入につながられた。



小学校とのライスバーガー・フルーツミックス交流会



離島×三間 日振島大運動会にて



県外×三間 大分県でのクッキング体験

〒798-1115 宇和島市三間町戸雁764-3
0895-58-2031

関連情報はこちら ▶



えひめけんりつやわたはまこうとうがっこう しょうぎょうけんきゅうぶあきんど
愛媛県立八幡浜高等学校 商業研究部A★KIND
 ごみかと思ったらスタートアップだった件

概要

- 商業研究部は、部活動として昭和45年に発足し、平成12年から「バーチャルカンパニーA★KIND（アキンド）」の名称で商工業や観光など色々な分野の活動を行っており、近年は、地域資源である農業と漁業を融合したビジネスプランや商品開発、環境問題について考えられる商品企画、ボランティア活動などを中心に地元で積極的に活動を続けている。
- 一昨年、八幡浜大島で行った海ごみの清掃活動をきっかけに、地元の塩や柑橘を使ったアイスクリームの商品開発、教育版マインクラフトによる大島の活性化などに取り組んだ。



海ごみのワークショップの様子



海ごみを使った商品・Sea Coaster



竹ツリー&海ごみオブジェの展示

成果

- 令和6年12月から、海ごみの牡蠣パイプを活用したオーナメントやヒンメリ作りのワークショップも月に1回程度行い、牡蠣パイプを使ったコースターやストラップの商品販売をしており、ワークショップの参加者が増えている。
- 海ごみ問題を周知するため、令和5年から年末年始に道の駅で竹林アートプロジェクトに取り組まれる森氏、フラワーデザイナーの西村氏、八幡浜工業高校とともに、放棄竹林の竹を生かしたイルミネーションに海ごみを合わせたオブジェを展示した。

〒796-0010 八幡浜市松柏丙654
 0894-22-2570

関連情報はこちら ▶



わーど
ダルメインWorldマーマレードアワード&フェスティバル
 いんじゃばん じっこういんかい
in Japan実行委員会
 マーマレードの聖地「やわたはま」へ

概要

- 英国ダルメインで平成18年から続く世界最大級のマーマレードコンテストの創設者が、日本からの出品数の増加とその品質の高さから、日本でも大会を開催したいとの意向を持つことを知り、日本有数の愛媛産・八幡浜産の柑橘ブランドの一層の向上を図るため誘致活動を行った結果、平成30年初頭に八幡浜市での日本大会開催が決定し、令和元年に日本で初開催された。
- フェスティバルでは、表彰式のほか、ステージイベント、農産物加工品販売ブース、受賞マーマレード販売ブースなどで、マーマレード・農産物のPRに繋げている。



第7回大会の審査会の様子



第7回大会出品マーマレード展示



第7回大会での駐日英国大使特別講演会

成果

- 本年（第7回）のマーマレードアワード&フェスティバルには、国内46都道府県に加え、海外では台湾、ドイツ、オーストラリアから、過去最多となる2,115作品の出品があった。
- 同大会で金賞を受賞した柑橘生産者の団体が企業化され、マーマレードを中心に農産物加工品を広く販売するほか、アマチュアの部の受賞者もプロとして店舗及びネットでの販売を事業化した。
- 『慈善事業を財政的に支援する』という理念のもと、アマチュアの部の出品料を全額寄附している。

〒796-8501 八幡浜市北浜1-1-1
 0894-22-3111 marmalade@city.yawatahama.ehime.jp

関連情報はこちら ▶





えぬピーおーほうじん

にじゅういち

NPO法人うちぬき21プロジェクト

せんじょうたなだ

千町棚田チーム

つなぐ棚田遺産～千町棚田を後世に～

概要

- 平成12年にNPO法人うちぬき21プロジェクトが創設され、「西条市民の誇れる町づくり」を目標に、①西条のうぬき水の保全と環境美化、②芸術文化の創造と環境づくり、③市民が誇れる景観づくりの活動を中心に行っている。
- 令和3年からは千町棚田チームを結成し、地元の企業や団体、西条農業高校生とコラボし、米や野菜などの栽培から加工、放置竹林の解消、地域伝統文化（秋祭り）の継承も行い、3世代交流による地域活性化を目指している。



西条農業高校生と石垣修復活動



高校生レストランでの竹灯籠・器・山菜の提供



単管・竹を使った活動拠点(倉庫)製作

成果

- 西条市民や西条農業高校生と耕作放棄地の解消のため、水田及び山菜畑化に取り組んだ。
- 放置竹林の整備について、西条農業高校生と一緒に、令和3年度の1,542㎡から令和7年度には4,028㎡まで整備できた。
- 耕作放棄地や獣害による石垣崩壊が進み始めているため、12～3月にかけ、3枚の石垣修復を行った。
- 西条農業高校生が実施している高校生レストランでの食材の提供を始め、千町棚田再生の様々な啓発活動を図った。

〒793-0035 西条市福武甲2128-15
0897-53-8902

関連情報はこちら ▶



愛媛県立丹原高等学校 Team KABOKU

～Growing Local Futures～

地域の『母樹園』一花木栽培面積が7年間で11倍にまで成長した仕組みづくり

概要

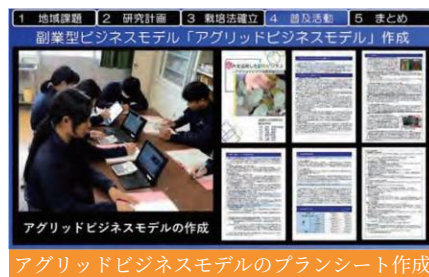
- 農家の高齢化が問題となる中、地域を担う高校生が、高齢者でも収益化が可能な副業ビジネスモデルを構築し、地域に導入するだけでなく、丹原高校産苗を地域に普及させることで地域農業を活性化させることを目的として、約7年前から研究活動を行っている。
- 農家が既存の農業形態に取り組みつつ、副業的に花木を用いたビジネスを展開するアグリッドビジネスモデルを構築した。

成果

- 同校独自の栽培法「密閉挿し」を応用し、新しい栽培法「Cell Tray Water Bath法」を開発。既存栽培法から大幅に発根率が上昇する花木栽培技術を確立した。
- メディア報道や花木挿し木技術伝承会などにより、地域農家から苗の注文が殺到し、丹原高校産の花木苗の出荷数が令和5年度から3年間で約16倍に増加する見込みである。
- 上記活動などにより、愛媛県東予地域の花木栽培面積は、令和元年からの7年間で約11倍にまで拡大した。



Cell Tray Water Bath法



アグリッドビジネスモデルのプランシート作成



花木の挿し木技術伝承会を実施

〒791-0502 西条市丹原町願連寺163番地
0898-68-7325

関連情報はこちら ▶



地方
奨励賞えひめけんりつおおずのうぎょうこうとうがっこう
愛媛県立大洲農業高等学校

「バショウ×Re:Design」～地域資源を再構築する農業と文化の挑戦～

概 要

- かつてはお盆飾りとして使われ、地域の文化に根ざしていたバショウだが、使用者が減り放置されることで、景観や農地環境が悪化していたことから、バショウの有効活用による地域資源の再生を目指し、取組を開始した。
- 令和6年度には企業と連携し、バショウと汚泥などの有機物を混合した肥料「coeru」を開発した。近隣果樹農家15軒に提供するとともに、ぶどうでの試験栽培を実施した。
- 多羅富来和紙と共同でバショウを原料とした和紙を開発し、障害者作業所ピースと連携して当該和紙で果実袋を制作した。



近隣農家にcoeruを贈呈し試験栽培開始



多羅富来和紙にバショウ和紙制作を依頼



ピースへ果実袋制作依頼、100枚納品

成 果

- coeru使用ほ場での生育調査では、新肥料使用区が対照区に比べ新梢長が5%増加、糖度は平均でグルコース6.3%、フルクトース3.0%上昇した。さらに土壌分析では可給態リン酸が10.9倍、EC値が2.7倍向上し、土壌の保水性・排水性が大幅に改善された。
- 多羅富来和紙と共同で開発した和紙は、クラウドファンディングや県内展示会を通じて22万円の売上を達成した。また、当該和紙を原料とした果実袋を100枚制作し、地域の雇用創出にも貢献した。

〒795-0064 大洲市東大洲15番地1
0893-24-3101

関連情報はここ ▶

ながはまこうこうすいぞくかんぶ
長浜高校水族館部
水族館部は救う、街も学校も！

概 要

- 長浜高校には、全国唯一の部活動「水族館部」があり、令和7年度は全校生徒156人中108人が入部している。
- 水族館一般公開で、生物の解説や様々な体験イベントを開催しているほか、教育目的の臨時公開や研究活動も充実している。
- 施設の老朽化や部員数の増加に伴い、令和6年4月、水族館は長浜水族館跡地の長浜保健センターに移転し、リニューアルオープンした。



来館者に部員が解説



令和7年度水族館部員



リニューアルオープンした長高水族館

成 果

- 部の活動は、地域に年間5,000人以上の交流人口をもたらしている。また、本年度、部所属の生徒のうち79人は寮生活を送ることで地域への流入人口を創出している。
- カクレクマノミがイソギンチャクに刺されない仕組みを研究し、令和6年度には卒業生を発明者として特許証が発行された。
- 漁協から養殖サツキマスの死亡率上昇の原因究明の依頼があり、養殖研究に取り組んだ結果、飼育密度と照度に原因があると仮説を立て、それを盛り込んだ養殖手法を漁協に提案した。

〒799-3401 大洲市長浜甲480-1
0893-52-1251

関連情報はここ ▶



かりとりもさくの会

心のパンツが脱げるまち～100年後も続く地域を目指して～

概要

- かりとりもさくの会は、西予市明浜町狩江地区の地域づくり活動のため、地区住民を構成員として平成23年に発足し、子育て支援団体や段々畑ガイドの会、景観保存会など約20の構成団体が活動している。
- 移住者受入れや地域外交流に注力しており、インバウンドを含む田舎体験観光客や修学旅行生の受入れ、ワーケーション企業や地域おこし協力隊の受入れ、地域食堂など多岐に渡る取組を行っている。



石垣修繕体験



段々畑ガイド



インバウンド客の魚捌き体験

〒797-0113 西予市明浜町狩江3-202-7
0894-65-0301

関連情報はこちら ▶



高川地域づくり会

来て見て感じて高川

概要

- 高川地域づくり会は、市の「せいよ地域づくり交付金」を活用して、地域が直面している多くの課題に対して主体的に自主・自立した地域づくりを実施するため、年間を通じて様々な活動を展開し地域内外の交流促進に取り組み始めた。
- 穴神鍾乳洞体験や四国初となるフットパス体験など、地域資源を生かした活動を実施している。ピザ焼き体験では、手作り石窯で地元食材をふんだんに使ったピザを食べることができる。また、絵本の新規発行も行った。



手作り石窯によるピザ焼き体験



SUIJI学生らによる現地研修



令和6年度に新規発行した絵本

成果

- 穴神鍾乳洞の絵本『ぼくらの穴神鍾乳洞発見物語』を1,000部発行し、書店や通販サイトでの販売や、ふるさと納税返礼品への登録、市内施設への無償配布などで、地域資源のPRにつながった。入洞の際に行った読み聞かせは、幅広い世代に好評であった。
- 穴神鍾乳洞体験の延べ人数は、令和2年度の406人から令和7年度には1,100人まで増加する見込みである。

〒797-1705 西予市城川町高野子75-1
0894-83-1001 takagawa.se@gmail.com

関連情報はこちら ▶



えひめけんりつ かみうけなこうとうがっこう しんりんかんきょうか

愛媛県立上浮穴高等学校森林環境科「くまもるず」

上高生が未来へ繋ぐ、天空の郷の地大豆・地雑穀

概 要

- 愛媛県立上浮穴高等学校（通称、上高（かみこう））には、全国でも珍しい林業・森林を専門的に学ぶ「森林環境科」があり、林業、自然、農業に興味を持つ生徒が全国から集まっている。
- 久万高原町の基幹産業である農林業は、担い手不足、郷土料理や在来作物の文化継承が課題となっていたことから、令和5年に地域資源復活プロジェクトチーム「くまもるず」を立ち上げ、在来作物である地大豆「久万大豆」や地雑穀の継承・普及、地域活性化を目指し、持続可能な農村づくりに取り組んでいる。



町内イベントでの販売・PR活動



地域自営者とのクマ式きびきびナンの開発



地元小学生との栽培交流

成 果

- とうきび粉を練り込んだナン生地に雑穀カレー（たかきびを肉の代わりに使用したキーマカレー）を盛り付けた「クマ式きびきびナン」を町内のイベントで150個販売。
- 令和6年9月から販売を始めた、水を入れて20分煮詰めるだけで雑穀カレーが完成する「ぷちきびカレー」は、2,000個以上を販売しており、ふるさと納税返礼品にも採用された。
- 久万大豆の栽培を10年ぶりに再開し、150名以上の生産者に種子を配付し、地域への栽培継承と普及活動を実施している。

〒791-1206 上浮穴郡久万高原町上野尻甲486
0892-21-1205

関連情報はこちら ▶

